

年頭にあたって

平成二十三年元旦

滝上町長 長 屋 栄 一

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、健やかに平成23年の初春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、平素は、町政の推進につきまして、格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、春先の低温状態が続き、夏以降異常な高温状態が続いたため、農作物の減収など、大きな影響が出たことは大変残念であります。一方、芝ざくらは、例年に比べ遅咲きとなりましたが、その後は土日の天候に恵まれたことなどにより、公園入園者数は微増となりました。

我が国の経済状況は、依然として低迷状態が続き、個人消費の低迷、失業率の増加など、国内経済を取り巻く環境は厳しく、政府の経済対策のもと生活基盤整備を講じているものの、景気回復の明るい兆しが見えない昨今となっております。また、TPP（環太平洋戦略経済連携協定）参加問題や政局の混迷は、不透明さを増す要因となっております。

本町の行財政運営につきましては、町民の皆さまのご理解、ご協力を得ながら「第5期総合計画」と昨年度見直しを行った「行財政改革実施計画」の方針に沿って、財政的自立を基調とした町づくりを進めてまいりました。

農業における主な事業につきましては、一昨年設立いたしました農業生産法人の施設整備への支援を実施しているところであり、新年度から本格的な経営展開がなされることとなっております。これにより、地域農業の活性化に大きな役割を担うと期待するものであります。

林業につきましては、世界的な環境に対する関心の高まりの中、環境材としての価値の創出を目指して、林業と農業の連携など新しい事業起こしに取り組んでまいりました。

バイオマス資源を燃料や牛舎の敷き料として有効利用を図るための施設整備や、高能率林業機械導入に対する助成、森林管理道雄鎮内線の整備など山づくりのための路網の整備のほか、道内初の4町によるカーボンオフセットへの取り組みを進めてきたところです。

観光につきましては、魅力ある観光地をめざすため、コテージや溪谷遊歩道などの整備を行い、体験・滞在型観光の推進に取り組んでまいりました。

生活環境の面では、かねてからの懸案事項でありました幼保一元化による「認定こども園」の建設工事に着手し、新年度からはいよいよ通園の運びとなっております。なお、施設は地元産の森林認証材をふんだんに使用し、子供のころから木とふれあいながら育つ「木育」を重視した環境に仕立てており、木を身近に感じる施設となっております。このことは童話村のまちづくりに通ずるものと考えています。

また、定住人口を確保するため、単身勤労者住宅の建設、町所有の空き家を改築した定住促進住宅の整備、都市と過疎地との情報格差の解消に向けた光ブロードバンドなど、情報インフラ整備を積極的に行ってまいりました。

医療面につきましては、医療機能の充実を図るため、X線透視撮影システム更新、高周波電気手術装置の導入などを行ってきました。

以上町政の一端を申し上げましたが、まちづくりは「自助・互助・公助」の精神のもと、童話村構想にあるように「住民一人ひとりがいきいきと暮らす町づくり」を進めていくことが基本と考えております。

本年も皆様方のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。